

地域活性化伝道師プロフィール		分野		農・林・水産業	
		地域産業・イノベーション・農商工連携		観光・交流	
		地域医療、福祉・介護、教育		環境	
		地域コミュニティ・集落再生	◎	まちづくり	○
ふりがな		やまだ たかし			
氏名		山田 崇			
所属	名称	空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクトnanoda(なのだ)			
	役職	代表			
連絡	住所	(公開)	〒 399-0736		(職場)
		(公開)	長野県塩尻市大門三番町2番4号		
	連絡先	(公開)	E-Mail yamayama7188[アットマーク]yahoo.co.jp		
		(公開)	TEL 080-1056-8017	FAX 0263-53-2006	
連絡方法	E-Mailでお願いします				
略歴	<p>2012年4月15日「空き家プロジェクトnanoda」をスタート 2013年6月 雑誌『TURNS』の表紙を飾り、「地域に飛び出す公務員アワード2013」大賞受賞。 2014年に登壇したTEDxSakuで、「nanoda」を「計画的偶発性理論」で捉えたTEDトークが、Web上で30000シェア以上され、全国からの注目。 現在は、信州大学の地域連携研究員として、塩尻から始まった取り組みを周辺自治体の若者との連携により発展させています。</p> <p>《受賞経歴》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2013年11月「長野県 地域発元気づくり大賞」大賞受賞(個店が輝くまちづくり事業 塩尻版「まちゼミ」) ・2013年12月「日本協働政策学会」公募セッション「市民による商店街活性化プロジェクトへの取り組み」 ・2014年1月「地域に飛び出す公務員アワード2013」大賞受賞 ・2015年11月「あしたのまち・くらしづくり活動賞(読売新聞主催)」主催者賞 ・2015年11月「地域若者チャレンジ大賞」北信越ブロック優勝 				
著作・論文等	-				
取組概要	<p>「空き家から始まる商店街の賑わい創出プロジェクトnanoda」を2012年4月から開始。「地域の課題を想像で捉えるのではなく、実際に住んでみないと商店街の現状・課題はわからない」と、地元塩尻の「大門商店街」に空き家を借りて可能な限り身を置き、毎朝降りてしまったシャッターを開ける取り組みから、地域、大学生、首都圏の社会人を巻き込むプロジェクトに発展。</p> <p>「信州移住計画」2016年6月スタート 地域の外に飛び出すと、地域の中に遊びに来る人が増える。「空き家nanoda」は、交流人口増加や移住者コミュニティとしての受け皿に発展。結果、商店街の空き店舗だった拠点に10ヶ月で126人が短期滞在、3年間で商店街に5人が移住。民間団体等を連携させた「信州移住計画」を設立。京都からスタートした「京都移住計画」、全国的に広がりを見せる「みんなの移住計画」との連携により、「好きなまちで自分らしく暮らす」をコンセプトとした若者の移住定住支援を行う。</p>				
メッセージ	<p>2012年4月にスタートした「空き家プロジェクトnanoda」は、2016年1月現在、空き家/空き店舗を活用した様々なプロジェクトによって5軒が新たな拠点として再生。「目の前のひとりを救えない人に、みんなは救えない。」と、ローカルなコミュニティ視点で、様々な人を巻き込み町おこしを实践。「地域の課題を想像で捉えるのではなく、現場で現状課題を知ることから」始まる活動により、「信州移住計画」など様々な新たなプロジェクトがスタートしています。</p> <p>また、2016年1月からは「MICHIKARA～地方創生協働リーダーシッププログラム」を、首都圏のプロ人材との協働による官民連携プロジェクトをスタート。地方の課題解決を民間企業のプロフェッショナル人材との協働実施するプログラムの全国展開を目指す。</p>				
関連ホームページ	http://www.shiojiring.jp/空き家プロジェクト-		活動エリア	中部圏、首都圏、近畿圏、北陸圏	

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールを送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。